

## 生徒のみなさんへ

宮城県宮城第一高等学校  
校長 後藤 和也

## 令和2年度 学校評価について（報告）

11月に実施しました学校評価アンケート調査について、多くの貴重な意見をいただきました。ありがとうございます。評価の結果がまとまりましたので報告いたします。

## ◇回収率 対象 全校生徒

回収率：1年次 242人(85.8%)，2年次 243人(87.7%)，3年次 197人(72.2%)

## ◇評価段階

A：当てはまる B：どちらかといえばあてはまる

C：どちらかといえばあてはまらない D：当てはまらない

肯定的評価（A+B）が90%以上：◎，60%以上：○，50%以上△，50%未満▲

## ◇評価領域ごとの結果と分析(数値の単位は%)

## 1. 教育活動全般に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
1	学校行事は楽しく有意義に行えるよう配慮されている。	30	51	52	43	12	6	6	0	91.9	◎
2	学校生活は充実している。	37	55	50	39	9	6	4	1	92.2	◎
3	校舎やグラウンドなどの施設・設備は整備されている。	32	23	47	49	10	23	10	5	73.0	○
4	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	50	48	38	44	6	7	5	1	91.6	◎
5	学習活動，学校行事，部活動では特色ある学校づくりに取り組んでいる。	41	61	45	35	8	4	6	0	94.4	◎
6	学校ホームページやClassiなどによって，学校の情報は適切に伝えられている。	33	38	50	49	12	10	4	3	86.5	○

「学校生活全般」については、令和2年度は新型コロナウイルス感染対策対応のため、年間予定も大幅な変更を余儀なくされてしまいました。そうした状況の中でも大変なことは沢山あったと思いますが、主体的でポジティブに発想し充実した学校生活を送っている様子がうかがわれます。全年次において宮一生としてのモチベーションの高さも感じられ、今後も継続されることを大いに期待しています。

No.3「施設・設備」については、旧校舎から仮設校舎への移転を含め、落ち着いた日々が続きました。仮設校舎に移転してからも、日常生活面や学習環境などで様々な要望があることを理解しています。短時間ですべてを改善することは予算などの面からも難しいところがありますが、可能な範囲で今後も解決可能な問題には出来る限り対応を考えていきますので生徒の皆さんも自分たちの校舎という意識で仮設校舎を大切に使う意識を持ち学校生活を送ってほしいと思います。

No.4「防災時の対応」については、仮設校舎に移転してからの防災対応は旧校舎の時とは多少変わります。今後も、避難訓練などを通して適切な情報発信、防災意識の向上に努めていきたいと考えています。

No.5「特色ある学校づくり」については、ここ4年では最高値(94.4)でした。休校や多くの制限があり学校行事や部活動も十分にできない1年でしたが、その中でも生徒の皆さんが様々な活動に熱心に取り組んでくれた意識の表れと思われます。

No.6「学校の情報伝達」については、休校中の実情もふまえ「Classi など」も質問項目に入れました。休校中はホームページも活用し、休校明けからもClassiを効果的に使い様々な連絡や情報伝達をすることができました。今後も皆さんのニーズにこたえられるような効果的な情報伝達に努めていきます。

## 2. 学習活動に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
7	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	32	34	45	53	17	10	6	3	85.2	○
8	生徒一人一人の個性を伸ばす教育課程（カリキュラム）が編成されている。	29	30	45	47	17	19	9	4	76.7	○
9	2年次、3年次での科目選択について十分な説明が行われている。	38	46	43	43	14	9	4	2	87.4	○
10	教科の年間指導計画や評価の仕方について説明されている。	43	41	50	47	4	10	3	1	89.6	○
11	学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある。	39	44	50	42	7	11	4	2	86.8	○

教務部関係の評価項目5項目中3項目で昨年度よりプラスの評価となりました。特に前年に比べて変化の大きかった項目は、No.7「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われる」の値でした。この項目については、一昨年度から昨年度にかけて8.5ポイント上昇し、更に今年度4.2ポイント上昇したことで、2年間で12.7ポイント上昇したことになります。ICTの利活用や生徒の学び合いなど各教科の授業が、生徒の皆さんの学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくような充実した内容となるように、各教員の授業力向上に対する意識改革がすすんだものと考えます。ただし、この項目は教員の自己評価に比べると生徒の皆さんの評価がやや低い値となっていますので、更に研修や授業公開などの体制の整備を進めるとともに、授業改善に取り組んでいきます。授業は教師と生徒の両者の努力によって初めてその成果が期待できます。生徒の皆さんも授業内容や自身の学習法について疑問が生じたときは、積極的に質問や相談に来てください。

また、各教科からの課題や小テストが多いとの声がよく聞かれます。課題は、紙ベースのものからデジタルベースのものへと変化しつつありますが、予習的なもの、復習的なもの、受験を見据えた発展的なもの等など、それぞれの課題の狙いを理解して意欲的に取り組むことで実力が養成されます。内容・分量・回数を毎年精選吟味していますが、なお担当者間で連絡を取り合って過重負担にならないよう留意したいと思います。課題提出日や小テスト実施日については、年間予定を示している教科が多いと思いますので、生徒の皆さんも早めに取り組むようにしてください。

### 3. 進路指導に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
19	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	38	43	53	48	7	8	2	2	90.6	◎
20	大学,短大,専門各種学校など,上級学校についての情報提供が的確になされている。	37	40	53	48	8	11	2	2	88.1	○
21	自分の進路について相談に応じる体制ができている。	42	44	48	45	4	10	5	2	89.0	○
22	進学へ向けての模擬試験や課外講習が充実している	48	55	47	40	3	4	2	1	95.3	◎
23	進路ガイダンス・進路講話は適切に実施されている。	47	51	49	44	2	5	3	1	94.7	◎

進路指導部関係の評価項目 5 項目全てにおいて昨年度よりプラスの評価となりました。特に No. 22「模擬試験や課外講習が充実している」、No. 23「進路ガイダンス・進路講話は適切に実施されている」については、非常に高い評価となりました。しかし、「もっと大学入試システムなど詳細に説明してほしい」という声があるなど、本校の進路指導が皆さんの要求に応えきれていない場面もあるかと思います。進路指導部では、「進路便り」や LHR 等の時間を使い進路情報を提供の工夫、担任の先生を始めとした面談の強化などに努めていきたいと考えています。

### 4. 生徒指導に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
12	学友会, 各種委員会の活動が盛んで充実している。	27	33	47	47	18	16	8	4	79.2	○
13	部活動が活発に行われている。	54	60	37	35	7	4	3	1	94.6	◎
14	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	29	31	41	48	20	17	10	4	77.6	○
15	学校として, 日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	30	31	45	54	16	11	9	4	83.3	○

No. 12「学友会, 各種委員会の活動が盛んで充実している」と評価している人が昨年度より 2.3 % 減少し, コロナ禍で多くの大会・行事が中止になり, 歌合戦をはじめとする各種委員会活動が例年のように実施できなかった無念さがにじみでる結果でした。一方で No. 13「部活動が活発に行われている」と評価している人が, ここ 4 年間で最高でした。全国一斉休校で自粛を余儀なくされ, 高総体は中止となりましたが, 様々な工夫を凝らして代替試合, 新人大会, 各種大会等で素晴らしい結果を残しました。苦難の中にあっても, 目標を掲げて解決の道を探り, 努力を続ける皆さんの意識と行動力が, 具体的な数字となって表れていると感じます。

一方で, 挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導があまり徹底されていないという結果は, 昨年度と同様です。校風の「自主自律」は, 何をしても自由という意味ではありません。主体的に行動するだけ

でなく、客観的に自己を律することのできる人格の形成をめざしています。時間・期限の厳守、早めの行動ができているか、自分の服装、頭髪等が高校生活にふさわしいどうか、今一度見つめ直してほしいと思います。

また、SNSの使い方ですが、発信する内容、時間等、他者に迷惑をかけていないか、よく考えてください。便利さと顔が見えない気安さから、配慮を欠いた発信をして他者も自分も傷つくことのないように、十分に注意してください。

最後に私物の管理についてです。忘れ物の申し出、拾得物の届け出は多くなっています。貴重品の管理をしっかりと行い、注意して学校生活を送りましょう。皆さん一人ひとりが他の模範となるように期待するとともに、学校としても改善が必要な点については注意して行きたいと考えています。

## 5. 健康管理に関する評価領域

No	評 価 項 目	A		B		C		D		A+B	評 価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
16	必要なときに、悩みや困りごとの相談に応じ てくれるカウンセリング体制が整っている。	33	41	53	50	10	8	4	2	90.0	◎
17	健康や体について困ったとき、相談に応じる 体制が整っている。	37	41	51	50	8	8	3	1	90.0	◎
18	校舎は衛生的に管理されている	37	35	49	51	10	11	4	3	85.9	○

カウンセリングについては、No. 16「カウンセリング体制が整っているか」という質問では、概ねあてはまると考えている人が多いようです。昨年度よりも若干数値も上がりました。しかし、あてはまらないのではとの回答も、全体で10%程ありました。今後、カウンセリングをより受けやすくすることやカウンセリングを含めた相談の形態についてさらに検討していきたいと思います。また、実施予定日や申込方法、利用するにあたってアドバイスなどを、分かりやすくお知らせしていきます。

健康管理に関する評価については、前年度よりも若干数値が下がりましたが、多くの生徒から概ね良好であるとの評価となっています。安心して学校生活が送れるようなサポート体制がある程度出来ていると感じています。今後ともより一層の利用しやすい環境づくりに努めていきたいと考えています。

No. 18「校舎の衛生的な管理」のA・Bの評価は85.9%で、前年度比29.8%増になっています。昨年度も若干上昇していました。その要因として考えられるのは、トイレをはじめとして清掃やマナーが、しっかりできてきたからだと思われます。また、校舎も換わりより綺麗に使っていこうという気持ちの表れもあると思います。トイレ清掃分担は、一昨年度から前期・後期で分担クラスを変えただけ多くの人にトイレ清掃にあたってもらいました。今後ともトイレ清掃の大切さと使用マナーの向上や清掃指導に力を入れていきたいと思います。校舎をいかに快適な環境にするかということは本校の課題であると思いますので、より一層の環境美化について働きかけ、清掃の徹底に努めていきたいと思います。